

平成28年度奈良県県土マネジメント優良工事表彰（県土マネジメント部長表彰）  
 工事概要

工事名	地域連携推進事業（国道改築） 第 1-2-橋-2 号	工事概要
河川・路線名	一般国道168号 辻堂BP（2工区）	工事延長 L=257m 橋長 L=231m
施工箇所	五條市大塔町閉君	PC上部工 （4径間連続ラーメン箱桁橋）
工期	平成25年12月13日～平成27年8月14日	
会社名	株式会社ピーエス三菱 奈良営業所	
発注機関名	五條土木事務所	
表彰理由		

当橋梁は、R160mとR300mの複合円による平面線形で、縦断勾配・横断勾配が途中で変化する、極めて複雑な形状の施工難易度の高い箱桁橋である。

山間部の厳しい施工環境のもと、施工ブロック継目の多い片持架設工法であったことから、如何に桁のたわみ量を管理し、ひび割れの発生を抑制するかが大きな課題であったが、独自の管理システムを構築、コンクリートの養生対策や継目部における工夫、内ケーブル緊張時の対策など、品質向上に向けて徹底した対策を行い、仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)



工事名	防災・安全交付金事業（街路改良）外 第 526-2号 外 号	工事概要	
河川・路線名	都市計画道路 石木城線	工事延長 開削トンネル工	L = 280m N = 1 式
施工箇所	奈良市石木町・七条西町2丁目		
工期	平成26年3月25日 ～ 平成27年12月28日		
会社名	大成・檜尾特定建設工事共同企業体		
発注機関名	奈良土木事務所		
表彰理由			

本工事は、「新奈良県総合医療センター」敷地内の開削トンネル工事である。先行する造成工事が想定以上の土質の悪さから工期が大幅に遅延したため、造成工事業者、同センター建築業者、との3者で密に工程調整を行い、建築工事の完成時期も考慮して、自ら工期を短縮する提案を行った。

トンネル施工時には、湧水による法面崩壊が頻繁に発生したが、崩土対策を工夫しながら工程管理に努めた。また、アーチカルバートの設置においては、効率的かつ高精度な据付が可能な施工方法の採用や、埋戻作業の効率化を図る工夫を行うなど、全工程にわたって工程短縮に努めた結果、目標通りの工程で仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)



工事名	社会資本整備総合交付金事業（道路改良） 第 19-A17-1 号	工事概要	
河川・路線名	主要地方道 枚方大和郡山線	工事延長	L = 128m
施工箇所	大和郡山市柳町	逆T型擁壁工	N = 1式
工期	平成26年9月10日 ～ 平成28年3月18日	軽量盛土工	N = 1式
会社名	高田重機建設株式会社		
発注機関名	郡山土木事務所		
表彰理由			

本工事は、県道の曲線が連続する区間で、養魚ため池の護岸を兼用した逆T型張出擁壁を施工する工事である。逆T型張出擁壁は、曲線状で複雑な形状であったため、精度の高い施工管理を要求された。

施工中は、養魚ため池の環境に影響しないよう、矢板締め切りに独自の対策を行いながら、擁壁支持地盤の改良工事や擁壁施工において独自の工夫と対策を行うなど、ひび割れ防止対策に努め、仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)



工事名	砂防激甚災害対策特別緊急事業 外 第 激甚1-6-[25]2 外 号	工事概要	
河川・路線名	麦谷川	工事延長	L = 134m
施工箇所	吉野郡東吉野村麦谷	補強土壁工	N = 1 式
工期	平成25年12月12日 ~ 平成28年1月29日	法枠工	N = 1 式
会社名	山本健土木興業株式会社	橋梁下部工	N = 1 式
発注機関名	宇陀土木事務所		
表彰理由			

本工事は、山間部における砂防堰堤工事に伴い、縦断勾配20%の村道を付け替える工事である。施工においては、当初の想定よりも土質が悪く、施工途中で斜面崩壊が発生し工法を見直すなど、難工事となったことから、工事作業員に対する万全な安全対策が必要となった。

施工においては、直下で工事の砂防堰堤工事業者と密に施工調整を行うと共に、法面掘削において独自の「工法採用」や「ソフト面での対策」を行うことにより、徹底した工事作業員に対する安全対策を行ったことから、建設労働災害もなく仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)



法枠工

補強土壁工



工事名	地域連携道路事業（南部・東部） 第 1-1-1 号	工事概要	
河川・路線名	一般国道168号 川津道路	工事延長	L = 225m
施工箇所	吉野郡十津川村上野地	補強土壁工	L = 93.1m
工期	平成27年7月1日 ~ 平成28年2月25日	重力式擁壁工	L = 22.4m
会社名	光和建设株式会社		
発注機関名	五條土木事務所		
表彰理由			

本工事は、一般国道168号（川津道路）改良区間内の工事であり、同時に施工する4工区の中で、最後に発注した工事である。現道は、4工区の中でも特に狭隘で線形も悪いことから、大型バス等を含む一般通行車両の円滑な走行を確保しながら、如何に工期内に工事を完成させるかが、最大の課題となった。

この課題に対して、一般通行車両の円滑な走行を確保するため、あえて全工程に不利となる狭隘箇所の補強土壁工事を先行して部分施工したうえで、さらに工程の短縮を図るため、残工事において施工方法の工夫を臨機に行い、かつ徹底した工程管理を行うことで、3月末の供用開始に間に合わせ、仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)



工事名	道路災害復旧事業 第 24災134-3 号	工事概要	
河川・路線名	一般県道 篠原宇井線	工事延長	L = 153m
施工箇所	五條市大塔町惣谷	集水井工	N = 2 基
工期	平成26年3月5日 ~ 平成28年3月25日	横ポーリング工	N = 17 本
会社名	井前建設株式会社		
発注機関名	五條土木事務所		
表彰理由			

本工事は、山間部の急峻な転石の多い斜面において、深さ約30mの集水井を2基掘削設置する地すべり対策工事である。掘削地盤が軟弱な地層と岩盤が不規則に互層となっていたため、狭いスペースの中で「岩掘削」と「フォアポーリング」を繰り返し施工する繁雑な作業となったことから、工事作業員に対する万全な安全対策が必要となった。

施工においては、斜面下の県道を通行する車両に対して、事前に安全対策を施すと共に、集水井施工時の工事作業員に対する安全対策においても、工期全般にわたり徹底した対策を行ったことから、建設労働災害もなく仕上がりの良い工事を完成させた。

写真(全景)

9号集水井



10号集水井

